

大森 智子

お お も り と も こ

声楽（ソプラノ）

東京都出身 神奈川県在住

【所属マネジメント】

公益財団法人日本オペラ振興会

住所：〒151-0061 東京都渋谷区初台 2-5-8
西新宿豊国ビル 102

TEL：03-6721-0995 FAX：03-6721-0997

担当：菅 若菜

E-mail：suga@jof.or.jp

© Shigeto Imura



やってみたいアクティビティとコンサート

アクティビティ

- ・たまにはひとりで……「アカペラ」、伴奏なしで歌うことを言います。歌の一番素朴な形、アカペラの良さも知っていただきたいです。たった一人で歌う声に耳をすましてほしい。それからお客様を巻き込んで「ハーモニー」をつくってみる。声と声が重なる瞬間。上手、下手を問わず、誰もが持っている「声」という楽器の可能性を探ってみたいです。
- ・自然という舞台で……歌の旅先で出会う豊かな自然には、いつも感動してしまいます。山があつて川が流れ田んぼが広がって。でも、その土地の人々からは「いつもあるもの」「見慣れた風景」という言葉を耳にすることが少なくありません。ちょっと待ってください！その風景は、そこにしかないものなのです。見慣れた風景の中に音楽が加わることで、きっといつもとは少し違う風景に見えてくると思うのです。その「ふるさと再発見」？のお手伝いをしたいです。皆さんが、ふっと口ずさみたくなるような。

コンサート

- ・民謡。それは歌い手にとって、その土地のことを何よりも直に感じることができる「歌」です。その土地の自然、食べ物、そして人々に出会って感じた気持ちを、民謡やその土地にまつわる歌にのせて届けたいと思っています。

自己PR

「おむすびになりたい」アウトリーチ先で美味しいご飯を食べながら、この事業のことを考えていた。歌いに行く先々で出会うもの……子供たちのまっすぐな眼差し、お年寄りたちの穏やかな笑顔、公演にかかわる人々の熱意などなど、。それらは、歌を届けたいという私の思いをはるかに超えて、とてつもなく大きなエネルギーを私にくれる。そんなお客さま一人一人の瞳を見つめて歌える、歌という楽器で良かったあ！

美味しいご飯を食べながらふと思った。そうだ、人と人を結ぶ「おむすび」に私はなりたい。

PROFILE

昭和音楽大学卒業、特別賞受賞。1992年に渡仏、パリ・エコールノルマル音楽院を審査員全員一致の首席で卒業、審査員特別賞受賞。パリ国立高等音楽院にてさらに研鑽を積む。在仏中、ナンテール市での「カルメン」のミカエラ、パリ・オペラ座での「カルメル会修道女の対話」等に出演。また、フランス国内やベルギーなどで宗教曲コンサートや各種コンサートに多数出演。

帰国後、昭和音楽大学オペラ「リータ」のタイトルロールで出演、その後も「愛の妙薬」のアディーナ、「夢遊病の娘」のアミーナと続けて出演し、2004年「ルチア」のタイトルロールで好評を得る。2000年新国立劇場に「トスカ」の羊飼いでデビュー後、翌年には藤原歌劇団に「マクベス」の幻影でデビュー。次いで同団公演「イル・カンピエロ」のニエーゼを好演。2013年には同団「仮面舞踏会」のオスカルに出演。また、コンサート歌手としても、全国各地でおしゃべりや語りを交えたコンサート活動を

行うほか、ヘンデル「メサイア」、フォーレ「レクイエム」などの宗教曲、イタリア初期バロックやフランスバロックの作品を歌い、ソロリサイタルやラモーのオペラに出演するなど、そのみずみずしい感性に透明感と温もりを併せ持つ声で活躍している。CDは「モンテヴェルディ・デュオ集～祈りの歌」と、日本の童謡からオリジナルまでを集めた「やわらかな歌」があり、NHK-FMでも紹介されている。

また楽譜の監修には「ピアノと歌うアヴェマリア」「ピアノと歌うオペラアリア」（ヤマハミュージックメディア）などがある。2000年文化庁芸術インターンシップ研修員。第16回日本古楽コンクール第2位（声楽で最高位）。（一財）地域創造・公共ホール音楽活性化事業アーティスト。昭和音楽大学・大学院講師。藤原歌劇団団員。

公式ブログ「ともこもなこ！」 <http://blog.goo.ne.jp/doli-lido>